YAWARAGI NEWS
和
やわらぎ

発行所
株式会社斎藤工務店
TEL 0236 (81) 7558
FAX 0236 (81) 7559
発行責任者
斎藤恵美子

生かされていることを知り 活かすことを考える。。。

松本建工株式会社 東北支店
支店長 佐藤益夫

東北地方で高断熱・高気密住宅が取り上げられてから、すでに10年余りが過ぎようとしています。東北人の気質からか、なかなか新しい物を進んで受け入れない風潮の中にあって、やっとこの二〜三年程前から盛んに言われ、受け入れの環境が整ってきたようです。ただ残念な事は、いつの時もそうである様に、名を借りた、見せかけ商売をする人達が出現する事です。ネコとシャクシも〃と言う言葉通り、今では誰しもが高断熱、高気密なんとか工法と名を打って、受注に走り廻わっている。単に受注手段であり商売の道具として取りえている業者の多い事に心が痛みます。

FP工法は高断熱・高気密住宅工法の中にあって一つの手法ですが、少なくとも住宅の持つ、地域文化性、住む人の気風、外気のきびしい気候環境からの保護をハード面に求め開発した性適があります。またソフト面は、この工法を採用して施工される方のこだわりや、施主さんのおもいといった主体性を尊重する様にしております。全体を含めた性能面に関してはメーカーとしての開発ポリシーをしっかり持ち、その上に地域の持つ文化や人々の生活面を取り入れることによって、本当の住いづくりと言える様な気がします。単に家づくりをするなら何んとか工法の看板などはいらない！いたずらに施主さんの夢をこなすだけで、仮にも企業人と言うなら恥じるべき事でもあると思います。企業とはその会社の仕事を通して社会に貢献してこそ存在価値があり継続していけるものだと私は考えます。言い換えるなら工務店さんの仕事ほど、地域社会に密着し文化に格している業種はないと思います。又、大きい視野に立つと、社会[illegible]差をつくり出しているといっ社会的責義の大きな使命感を背負っていることになります。物事の本質や目的を見失なった場当り的発想に、発展はないと思います。山形の斎藤工務店さんをそうゆう意味で[illegible]るなら、まさしく人生[illegible]そのものな仕事に現われているように思います。[illegible]でのこだわりを[illegible]を愛し、仕事に取り組んでいる姿勢は、FPのものづくり思想に[illegible]っていると思います。人も企業も己れだけでは生きていかれないものです。人にも物にもそのものの持っている役割りがあります。その良さを引き出して上げて初めて活かされてきます。[illegible]因果が返って自分が生かされる。人生も仕事も[illegible]の法則の中にある様な気がしています。土地と人と文化を大切にして、斎藤工務店の物づくりの思考を失なう事なく大いにその仕事を通じて地域社会への貢献を期待しています。

自分の仕事。。。

どんな仕事でも、それが世の中に必要であればこそ成り立つので、世の中の人びとが求めているのでなければ、その仕事は成り立つものではない。だから、自分の仕事は、ほんとうは世の中にやらせてもらっている世の中の仕事なのである。ここに仕事の意義がある。自分の仕事をああもしたい、こうもしたいと思うのは、その人に執着があればこそで、まことに結構なことだが、自分の仕事は世の中の仕事であるということを忘れたら、それはとらわれた野心となり小さな自己満足となる。

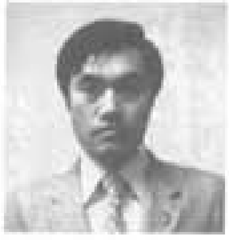
仕事が伸びるか伸びないかは、世の中がきめてくれる。世の中の求めのままに、自然に自分の仕事を伸ばしてゆけばよい。大切なことは、世の中にやらせてもらっているこの仕事を、誠実に謙虚に、そして熱心にやることである。世の中の求めに精いっぱいこたえることである。お互いに[illegible]

これは松下幸之助著「道をひらく」[illegible]

社長 斎藤和明

Original Frame & Urethan Panel
F & P
FPの家

信頼で建てたFPの家



山形市中桜田
斎藤忠夫　様

次女が中学を卒業し、いわば子育てと一つの区切りを迎えたのを契機に、自宅の新築を考え、大手ハウスメーカーの展示場などを見て回りそれなりに説明なども聞いてみました。しかし、後は不可能な一大投資のことを考えると、今後とも信頼のおける斎藤工務店に頼むしかないとの結論に達したのでした。当方で考えた間取り案をもとに主任の阿部さんと社長・私共夫婦の四人であれこれ検討して行く中で当然出たのは、FPの家のことでしたが、限られた予算とあり、何よりも暖房器具など、クーラーも一つで、そのように言われても実感がわかないのが正直のところでした。

そんなある七月末、出かけた先でFPの家の内覧会という山新の記事が目にとまり、帰りに立ち寄ったのでした。その日は猛暑でしたが、中に入るとさらっとして涼しく、車の往来の激しい道沿いにもかかわらず、外の騒音がうそのように静けさでした。これ以来FPの家に気持が大きく動き、数回の設計協議をへて十一月上旬建前、三月完成へと進んだのです。引っ越しは三月中旬でした。玄関を入るとほんわりとした優しさが迎えてくれ、各部屋の温度差はほとんど無いのはまさに快適、健康的と言えるでしょう。また、部屋の造りは、ゆったりと少し明るくというのが設計の基本的考えであり、玄関ホールの吹き抜けなど、日光をふんだんに取り入れ、高断熱・高気密とも相まって、暖房もこれまでより早めに切り上げることとなり、省エネ効果も大きいものがあります。夏の冷房効果がどうなるか今から楽しみにしているところです。

斎藤忠夫　様邸宅

我々一般人にとって住宅建築は一大事業であり、言わば大きな賭けでもあります。そしてそれが危険な賭けとならないためには、工務店の技術と信用を買うということではないでしょうか。斎藤工務店さんとはこれからも永く良い信頼関係を続けて行きたいと思っております。

研修旅行

四月二十一日より四月二十四日の日程で、従業員と協力業者の方々と一緒にシンガポール研修を実施いたしました。長い間念願であった海外研修は、本当に実のある研修となりました。一年を通し三〇度近い温暖のため、街全体が緑と花で満ちあふれ、理想的街づくりが展開されておりました。国全体が観光地であり、感心した部分は、見習うべきものがありました。

特に、日本ではどこの観光地に行ってもゴミの山が目につきますが、シンガポールはチリ一つ落ちているところがなく本当に気持ちの良いもので日本人も考えなければならないと思いました。

建設ラッシュは正にアセアンの中心として、香港にかわる存在になろうとして変化しつつあることを感じました。

最後に参加頂きましたお客様及び協力業者の方々ご協力誠に有難うございました。

シンガポール観光記念写真　平成7年4月22日

我社自慢の施工例

完成いたしました

山形市緑町

円徳寺　様車庫新築工事

山形市蔵王成沢

伊藤光久　様増改築工事

山形市西田

（有）丸喜開発様　サンシャルムB号棟新築工事

土木工事

農業集落道3号線道路工事

山形市公共下水道第346工区（汚水・流関）工事

ただいま建築中です

山形市大字志戸田　遠藤民雄　様邸宅

山形市飯塚北台　岸野　勉　様邸宅

山形市大字漆山　山川正明　様　車庫新築工事

新入社員紹介

今年四日に入社しました河合千恵さんです。新卒のフレッシュレディーです。阿部部長と一緒に現場に出て勉強中です

CAD、設計、積算等コンピューターに関しては社内ナンバーワン。学生時代は陸上の選手国体でも活躍されました。体力はバツグンです。FPの家、在来工法ともに積極的に取り組んでいきたいとのこと……。こんな河合さんです宿さんよろしく。

過去最低の水準に

住宅金融公庫金利6/2 山形新聞

大綱、建設所省は一日、賃金運用部預託金利の引き下げに伴って、住宅金融公庫の貸し付け基準金利（現行年三・八%）を引き下げる方向で調整に入った。今回の賃金運用部預託金利の引き下げ幅（〇・二%）と同程度の下げ幅となる公算が大きく、公庫金利は昨年一月につけた過去最低の年三・六%と並ぶ水準まで低下する見通しだ。

公庫の新金利は六月七日に実施される。本年度一回目の算値（六月二日に締め切り）には適用されない。

住宅金融公庫の基準金利は床面積百二十五平方㍍以下の新築住宅に適用される。基準金利は、長期金利の低下によって、ことし四月以降三カ月連続の引き下げとなる。政府は急激な円高で景気に不透明感が強まってきているため、住宅公庫金利の低下によって、住宅投資が下支えされることを期待している。

この日決まった賃金運用部預託金利は、年三・八五%から〇・二%引き下げて年三・六五%になった。

北海道に生まれ、世界にはばたく[FPの家]。

高断熱・高気密が省エネルギー性を生みます。

外気温を室内に伝えず、室内の空気を逃がさずに一定温度に保つことが高断熱・高気密であり、この性能が高くなるほど、高い省エネルギー性を生みます。

快適生活のための、温度・湿度は。

快適さを感じる温度は、冬で19℃～22℃、夏で26℃～29℃、湿度は年間を通じて40～60%位が最適。この快適環境を四季を通じて実現できるのが、高断熱・高気密のＦＰの家です。

冷暖房費がグッと節約になります。

ＦＰの家は、グラスウール50～100mm(16kg/㎥)の住宅に比べ、暖房費で3/5～1/3(灯油価格換算)、冷房費で1/2～1/4(電気料金換算)の節約になります。

快適住宅の三要素、高断熱・高気密・計画換気。

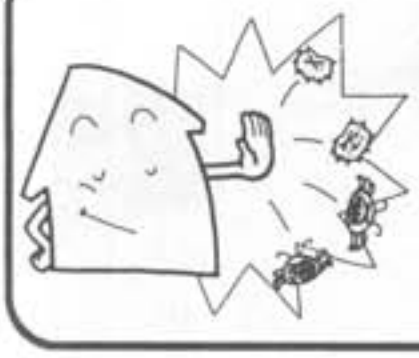
ＦＰの家では、換気を計画的に行い、換気量を正しくコントロールするために気密化が大切であり、その調整した温度を保つために、高断熱化が必要。この三つが快適住宅には欠かせません。

温度差が少ないから、身体に安心。

お年寄りにとって身体によくない急激な温度差。温かい部屋から寒い廊下への移動は禁物ですね。ＦＰの家は室内の温度差を一定にすることによって、脳卒中や心臓病の予防にも役立ちます。

地震や台風に威力発揮。耐久性、強度抜群。

硬質で高密度なウレタン断熱パネルの水平力に対する強度は抜群。地震、台風、そして大雪などにも何年たってもビクともしません。住む人をしっかりとガードします。



健康の大敵、ダニ・カビ知らず。

カビやダニの発生原因となる湿気やほこりをもとから絶ち、防湿・防水性に優れたＦＰの家はクリーンな健康住宅です。ご家族の健康をいつまでも快適に守ります。

信頼の証しです。公的な認定・評定。

(財)住宅・建築 省エネルギー機構により気密化住宅であることが評定されており、屋根トラス工法、枠組壁工法における下枠と床枠組の接合方法により、建設大臣認定を受けております。

あとがき

日頃皆様方には、大変ご支援を賜り本当に有がとうございます。

〝そよかぜ〟も平成二年三月二十一日、第一号の発行を最初にお陰様にて十五号の発行をみることができました。

この間、皆様より、文章へのアドバイス、紙面への注文等、色々なはげましのことばをいただきながら、何とか発行を続けることが出来ましたことに対し尽くお礼申し上げる次第であります。

紙面を通じて会社の動きや、業界のさまざまなニュース等をお伝えし、皆様とのつながりを深くし、いくらかでも皆様方のお役に立ちたいと思い続けております。今後も当初の趣旨を大切にしより充実した内容にしたいと考えております。

皆様方のご意見等を数多く紙面にてとり上げてまいりたいと思います。そしてより充実した〝そよかぜ〟を発行し、皆様方のお役に立つよう社員一同頑張って参りたいと思いますので、今後共ご指導ご鞭撻賜りますようよろしくお願い申し上げます。

十五号発行にあたりご協力いただきました皆様方に対し心より感謝申し上げます。